

ごあいさつ

ヴェリミール・フレーブニコフの創作をモチーフにした絵画展について

2015年秋、ウクライナのザポロージェ市で、ザポロージェ・コサックにルーツをもつ、ロシアの未来派詩人ヴェリミール・フレーブニコフ生誕130年を記念した「第五回フレーブニコフ国際フェスティバル」が催され、その一環として、同市でフレーブニコフの詩の創作をモチーフにした絵画コンクールが開かれました。フェスティバルの組織委員会は、ザポロージェの古典私立大学、詩人の孫にあたる芸術家のヴェーラ・ミトゥーリチ=フレーブニコヴァ氏、オランダの学術誌「ロシア文学」編集長のヴィーレム・ヴェスツテイン氏などで構成されています。今年の絵画コンクールには、ウクライナ・ロシア・日本の三カ国から、児童・生徒や学生、教師約240名が、絵やイラストを260点あまり出品しています。

上智大学ヨーロッパ研究所は、第一回より「フレーブニコフ国際フェスティバル」に協力を行っており、入賞者への記念品を提供しているほか、絵画の入賞作品を研究所ウェブサイトで紹介してきました。

このほど、20世紀ロシア文学研究者で、フェスティバルを主催するイリーナ・シャートワ古典私立大学准教授が来日され、絵画コンクールに寄せられた作品の一部をお持ちになりましたので、ここにご紹介します。

ウクライナ、ロシア、日本の子どもたちと教師が、国境を越え、自然や未来といった共通のモチーフのもとに描いた作品群です。個性溢れる絵画を通じて、色彩豊かなフレーブニコフの芸術世界をお楽しみください。

上智大学外国語学部ロシア語学科教授

ヨーロッパ研究所所員

村田真一